

ELMO

LINEAR PCM RECORDER

VRP-1

取扱説明書

ご使用になる前に本取扱説明書をよくお読みください。

■ 安全上のご注意

安全にお使いいただくために—必ずお守りください

この「安全上のご注意」は、本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。

ご使用前によく読んで大切に保管してください。

次の表示と図記号の意味をよく理解してから本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味

	名称: 注意 意味: 注意(しなければならないこと)を示すもので、具体的な注意内容は近くに文章や絵で示します。
	名称: 禁止 意味: 禁止(してはいけないこと)を示すもので、具体的な注意内容は近くに文章や絵で示します。
	名称: 風呂場・シャワー室での使用禁止 意味: 本製品を風呂場やシャワー室で使用することで火災・感電などの損害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が描かれています。
	名称: 接触禁止 意味: 接触すると感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が描かれています。
	名称: 分解禁止 意味: 本製品を分解することで感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が描かれています。
	名称: 強制 意味: 強制(必ずすること)を示すもので、具体的な注意内容は近くに文章や絵で示します。

本機について

 警告	
分解、修理、改造をしないでください。 感電やけがの原因となることがあります。	
車、バイク、自転車等の車両を運転しながら操作しないでください。 交通事故などの原因となります。	
水に落としたり、内部に水や金属、燃えやすい異物が入ったら、速やかに電池を抜き、 それから販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。	
万一、画面が映らないなどの故障の場合には、電池を本機から抜き、 それから販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。	
本機の裏蓋やカバーは外さないでください。 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。 内部の点検・整備・修理は、販売店にご依頼ください。	
病院や航空機内などの使用に制限がある場所で使用しないでください。または各場所 による指示に従ってください。	
本機に水や異物を入れたり、濡らしたりしないでください。 火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺では使用しないでください。	
本機をストラップで提げて持ち運んでいるときは、他のものにぶつかけたり、引っかかったりし ないでください。けがの原因となることがあります。	
周囲の音が聞こえない危険な場所で、イヤホンを使わないでください。 事故の原因となります。	
本機を幼児、子供の手の届く範囲に放置しないでください。 誤操作によるケガや感電の原因となります。	
本機を落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけないでくださ い。故障の原因となります。	
 注意	
イヤホンを耳につける前に、一度再生を試し、適正な音量に調整してからご使用ください。 聴覚障害や聴力低下を引き起こす恐れがあります。	
直射日光下の車中など、高温・多湿の場所に放置しないでください。 故障・火災の原因となることがあります。	
湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。 火災・感電の原因となることがあります。	
静電気が発生する場所のそばに置かないでください。 故障・火災・感電の原因となることがあります。	

電池について

 警告	
本機で指定していない電池を使用しないでください。 感電や火災の原因となることがあります。	
電池を火の中に入れてたり、加熱、分解、改造しないでください。 絶縁物やガス排出弁などを損傷させたりして、電池を漏液、発熱、破裂させる恐れがあります。	
電池の極性(+/-)を逆に入れないでください。 液漏れ、発熱、発火、破裂する恐れがあります。	
電池を金属製品と一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。+と-の極性がショートして大きな電流が流れたりして、発熱、発火、破裂する恐れがあります。	
電池は幼児・子供の手の届くところに置かないでください。 幼児・子供が電池を飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。	
電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明など障害の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で十分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。	
万一、使用中に異常な音がある、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、注意しながら速やかに電池を抜いてください。それから販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。	
外装にキズや破損のある電池は使用しないでください。 破裂や発熱の原因となります。	
 注意	
表面の被覆の破れた電池を使用しないでください。 故障・火災・感電の原因となることがあります。	
長期間使用しない場合は、必ず電池を取り出して保管してください。 液漏れする恐れがあります。	
使えなくなった電池は速やかに本機から取り外してください。 液漏れする恐れがあります。	
使用済みの電池は、接点部分にテープを貼って絶縁し、一般廃棄物として各自治体の指示に従って廃棄してください。	

接続ケーブルについて(接続ケーブルは市販品)

 警告	
接続ケーブルのコードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、交換してください。 そのまま使用すると火災、感電、火傷の原因となります。	
引火性ガスや物質(ガソリン、ベンジン、シンナーなど)の近くで使用しないでください。 火災、火傷の原因となります。	
損傷によりケーブルが露出したら、露出部分には絶対触れないでください。 感電、火傷、ケガの原因となることがあります。	
接続ケーブルを本機の下敷きにしたり、上に重いものを乗せたり、敷物などで覆わないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。(コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気づかず、重い物を乗せてしまうことがあります。)	
接続ケーブルを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。破損して火災・感電の原因となります。	
接続ケーブルの内部に水や金属、燃えやすい異物が入ったり、水に落としたりしたら、感電、火傷、ケガの原因となることがあります。接続ケーブルの使用を控えるか注意して取り外してください。	
万一、使用中に異常な音がする、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら注意しながら接続ケーブルを抜いてください。それから販売店にご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。	
雷が鳴り出したら本体、接続ケーブルには触れない。 感電の原因となります。	
接続ケーブルを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災、感電の原因となることがあります。	
接続ケーブルは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと発熱や、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。	
 注意	
接続ケーブルを抜くときは、コードを引っ張らないでください。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ず、ケーブル端の部分を持って抜いてください。	
濡らしたり、濡れた手で接続ケーブルを触ったり、抜き差ししたりしないでください。 感電の原因となることがあります。	
接続部分にほこりをつけたまま差し込まないでください。 火災・感電の原因となることがあります。	
長時間使用しない場合は、必ず接続ケーブルを抜いてください。 火災・感電の原因となることがあります。	

使用上のご注意

【重要】

- マイクロ USB ケーブルを使用して本機を操作する際、ケーブルが抜かれると電源 OFF となります。録音中のデータあるいは記録メディアが破壊される可能性があるため、ケーブルが抜けないよう十分ご注意ください。
- 市販品のマイクロ USB ケーブルおよび AC アダプタを使用できますが、すべての製品で動作を保証するものではありません。仕様など十分にご確認の上ご選定ください。本格的なご使用の前には AC アダプタ、マイクロ USB ケーブルを接続し、正常動作を確認してください。
- 本機をご利用時は、キャビネットの変形や故障を防ぐために、次の事を必ずお守りください。
 - ズボンなどの後ろのポケットに入れて座らないでください。
 - イヤホンコードを巻き付けたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えないでください。
- 聴覚障害や聴力低下を引き起こす恐れがあるため、大音量で長時間続けて聞きすぎないようにご注意ください。
- イヤホンボリュームの初期値にご注意ください。突然大きな音が出て耳を痛めることがありますので徐々に音量を大きくしてください。
- 強い振動やショックを与えないでください。外的なショックにより電源が切れることがあり、故障原因にもなります。その際、録音中のデータあるいは記録メディアが破壊される可能性があります。
- 本機は防水仕様ではありません。水がかからないようご注意ください。また水気の多い場所で使用しないでください。特に以下の場合、ご注意ください。
 - 洗面所などで本機をポケットに入れて使用した場合、身体をかがめた時などに、落として水濡れの原因となります。
 - 雨や雪、湿度の多い場所で使用した場合、水や液体が内部に入り、火災や感電の原因となります。
 - 汗をかく状況で使用した場合、濡れた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに本機を入れると、水濡れの原因となります。
- メモリカード内のデータに異常が生じることがありますので、磁気カードをスピーカーやイヤホンの近くに置かないでください。
- 三脚を取付ける場合は、本機を回さず三脚側のネジを回してください。

ノイズについて

- 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 本機に手があたったり、こすったりすると、雑音が録音されることがあります。

メモリカードについて

- 本機ではメモリカードとして、WORM カード (PGS 社または SanDisk 社製) のほかに市販の SD/SDHC カードを使用できますが、すべてのカードでの動作を保証するものではありません。
- 初期化は必ず本機で行ってください。パソコンなど本機以外の機器を用いて初期化したメモリカードは、本機での動作を保証しません。
- すでにデータが書き込まれているメモリカードを初期化すると、データが消去されてしまいます。誤って大切なデータを消去することが無いようご注意ください。
- メモリカードは、小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込む恐れがあります。

- 録音中/再生中/消去中/フォーマット中は、メモ리카ードを抜き差ししないでください。メモ리카ードの破損や故障の原因となります。
- 画面に「処理中マーク」等が表示されているアクセス中は、メモ리카ードを取り出さないでください。

記録/再生について

- 本格的な使用の前には予め録音・再生を行ない、正常に録音・再生できることを確認してください。

外部マイク入力について

- エレクトレットコンデンサマイク(ステレオ)をご使用ください。それ以外のマイクを接続すると、故障する恐れがあります。

イヤホン出力について

- 3極イヤホン以外を使用しないでください。正常に音声再生されない場合があります。

次のような場所には置かないでください。

- 湿気やほこりの多い場所、潮風の当たる場所。
使用上の環境条件は次のとおりです。
温度:0℃～ 40℃ 湿度:30%～ 85%以下(結露しないこと)
- 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
- 窓を閉めきった自動車内(特に夏期)や、直射日光下の自動車内、夏の海岸などの高温・多湿の場所。

保管・お手入れについて

- 本機の清掃は、必ず電源を切り、乾いたやわらかい布で拭いてください。
シンナーやベンジンなど揮発性のものは使用しないでください。
- 保管にあたっては直射日光のあたる所、暖房器具の近くに放置しないでください。
変色、変形、故障の原因となることがあります。
- 水気がついたら、水分をすぐに乾いた布でふき取ってください。特に塩分にはご注意ください。
- 電子レンジ・冷蔵庫などの電気製品の上や近くに本機を置かないでください。
- 砂や泥がつかないようにご注意ください。修理不可能な故障となることがあります。

ファイルリカバリーについて

- 本機はリカバリー機能を有していますが、すべての障害を回復できる訳ではありません。また、リカバリーにて回復したファイルは録音データの一部が欠落します。
- ファイルのリカバリーをした場合は、「エラーファイルをリカバリーしました」を表示します。
- ELMOVR1P.RCV(非表示属性)を情報管理ファイルとして使用します。
フォーマット以外で ELMOVR1P.RCV ファイルの消去は行わないでください。
- 録音開始時刻が不明な場合のファイルは、##mddd_hhmmss.wav 形式のファイル名になります。

その他の注意について

- 本製品の保証期間を超えて長時間お使いになられるとき、部品の寿命によって、性能、品質が劣化する場合があります。有償にて部品交換致しますので、お買い上げの販売店か、弊社ウェブサイトからお問い合わせください。

■ 著作権について

本機を利用して録音したものは、個人として利用する以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また個人として利用する目的であっても、録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。著作権法上、弊社に無断では使用できません。

■ 本書の内容については、予告なしに変更することがあります。

最新版は オフィシャルウェブサイトでご確認いただけます。

<http://www.elmo.co.jp/info/support/guide/security/VRP-1.pdf>

■ 万一、本製品の使用及び故障、修理、その他の理由により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、弊社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 本機を廃棄するときのお願い

本製品に内蔵されているコイン型マンガンリチウム二次電池の取り外しはお客様自身で行わず、巻末記載の弊社開発営業部にお問い合わせください。

廃棄するときには、内部メモリの初期化を行ない、全てのデータを消去してください。

■ 電池を廃棄するときのお願い

本機で取り扱う電池は種類によって、廃棄方法が異なりますので、それぞれ決められたリサイクル、廃棄方法に従ってください。

①単 3 形アルカリ乾電池/②内蔵のコイン型マンガンリチウム二次電池

使用済みの電池は、接点部分にテープを貼って絶縁し、一般廃棄物として各自治体の指示に従って廃棄してください。

③単 3 形ニッケル水素充電池(市販品)

ニッケル水素充電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素充電池は、接点部分にテープを貼って絶縁し、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については一般社団法人 JBRC ホームページ(<http://www.jbrc.com/>)を参照してください。

<データ消失に関する注意>

誤操作や機器の故障などにより、メモリへの記録内容が破壊されたり、消えることがあります。

大切な記録内容はパソコンのハードディスクなどにバックアップを取って保存してください。

本製品は故障、弊社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じたデータの消失による損害および逸失利益などに関し、弊社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

目次

■ 安全上のご注意	2
■ 目次	9
① 準備する	11
①箱の中身を確認する	11
②各部の名称を確認する	11
③メモ리카ードを挿入する／取り出す	12
④電源を供給する	13
◆電池を入れる	13
◆マイクロ USB ケーブルを使用する	13
⑤電源を入れる／切る	14
⑥日時設定する	15
⑦液晶ディスプレイの表示を確認する	15
⑧入出力端子を確認する	16
② メニューの見かた	17
③ 基本操作	22
①録音する	22
◆外部マイクから録音する	23
◆外部機器の音声を録音する	24
◆録音中の音声を聞く	26
◆HOLD 機能(誤操作防止)を使う	26
②再生する	27
◆一時停止をする	28
◆巻戻し／早送りをする	28
③イヤホンについて	29
④ 応用操作	30
①パソコンを活用する	30
②フォーマットする	31
③電源を自動的に切る	33
⑤ こんな表示が出たら	34
⑥ 故障かな? と思ったら	35
◆現象と確認	35
⑦ 仕様	37
◆電池持続時間のめやす	38
索引	39
■ 商標・ライセンスについて	40

本機の主な特長

★WORM カードに対応

WORM メディア(ライトワンス)型の SD メモリカードに対応しています。
WORM カードを使用して録音すると、記録音声には瞬時にロックが掛かる為、一切の消去、改変、上書き、名前の変更、記録情報の変更などができず、カードの初期化も不可能となります。
WORM カードに書き込めるのは対応ホスト機器だけのため、高い録音真正性を確保することができます。

★リニア PCM 形式に対応

サンプリングレート: 44.1kHz、ビット数: 16bit の高音質に対応。原音を忠実にデジタル録音できます。

★大容量記録メディアに対応

内部メモリ(4GB)または SD カード/SDHC カード(32GB まで)に記録でき、長時間録音が可能です。

★5つのイヤホン出力

5つのイヤホン出力を持ち、複数人で使用することで、情報の共有が可能です。

★クイックなマイク音声入力

起動直後のスタンバイ状態でもイヤホンを通してマイク入力の音声をクイックに聞くことができます。

★録音の真正性を確保

録音中の一時停止は出来ないため、録音データの連続性が保証されます。

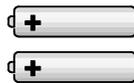
① 準備する

①箱の中身を確認する

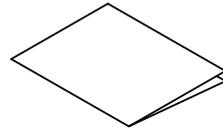
下記のものと同梱されているか確認してください。
同梱されていない場合は、販売店までご連絡ください。



本機



単3形アルカリ乾電池(2本)



クイックスタートガイド(保証書付)

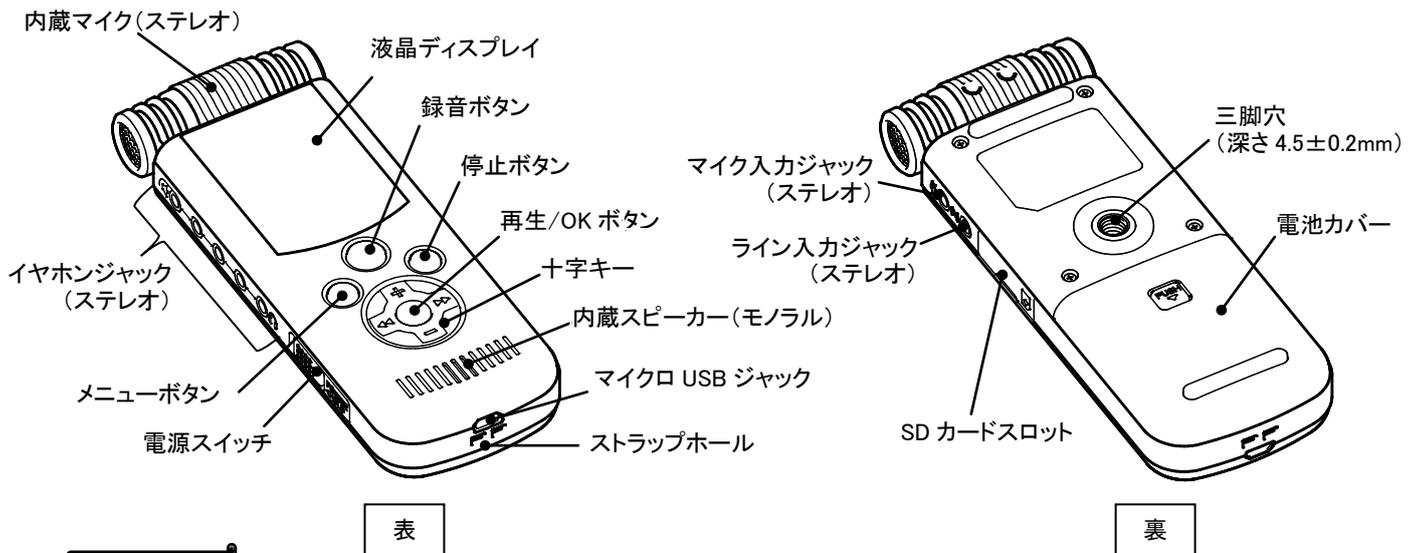
お知らせ

・オプション品として、ACアダプタ、マイクロUSBケーブルのセット品を用意しています。
オプション品のご購入については、下記弊社WEBサイトよりご購入下さい。

www.elmo.co.jp/products/security/vrp1/

本機に利用できるACアダプタ、マイクロUSBケーブルの仕様についての詳細は「⑦仕様:オプション品」に記載しています。(→P.38)

②各部の名称を確認する



お知らせ

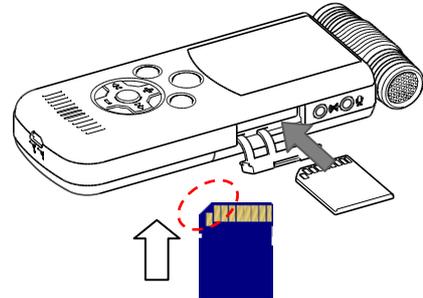
・お買い上げ時、液晶ディスプレイ表面に保護用の透明シールが貼り付けられています。
ご使用の際には剥がしてご利用ください。

③メモ리카ードを挿入する／取り出す

本機では WORM カード (PGS 社または SanDisk 社製) または SD/SDHC カード (32GB まで) に音声を保存することができます。

◆SD カードを挿入する

1. 電源 OFF 中に SD カードスロットの蓋を開け、SD カードをカチッと音がするまでしっかり差し込みます。
2. SD カードスロットの蓋を閉じます。



注意

- ・カードの向きを間違えて挿入したり、斜めに入れたりすると接触面が破壊され、カードが抜けなくなる可能性があります。
- ・カードが奥まで挿入されていないと、録音ができない場合があります。
- ・SD カードの書き込み禁止 LOCK スイッチが入ると録音できないのでご注意ください。

◆SD カードを取り出す

1. 電源 OFF 中に SD カードスロットの蓋を開け、SD カードを軽く押します。
2. SD カードが少し出てくるので、ゆっくりと引き抜きます。
3. SD カードスロットの蓋を閉じます。

注意

- ・SDXC カードはご使用になれません。
- ・録音、または再生可能な SD カードは 32GB までとなります。
- ・SD カードへの処理中は絶対に SD カードを抜き差ししないでください。
- ・SD カードの製造メーカーや種類によっては本機で正しく動作しない場合があります。
- ・SD カード挿入時は、向きにご注意ください。
- ・SD カードが認識されない場合は、取り出してから再度入れ直してください。
- ・SD カード挿入口には、SD カード以外のものを挿入しないでください。
- ・録音の前に、SD カードに保存されているデータをパソコンに保存してからご使用ください。

動作確認済み SD カードについては、下記弊社 WEB サイトよりご確認ください。

www.elmo.co.jp/products/security/vrp1/

④電源を供給する

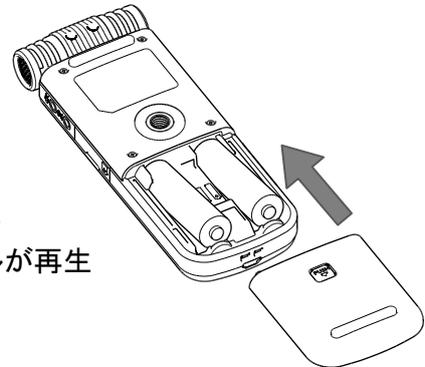
本機に充電機能はありません。電池を入れる、またはマイクロ USB ケーブルを使用して電源を供給してください。

◆電池を入れる

1. PUSH を押しながらスライドさせ、電池カバーを開けます。
2. 付属の単 3 形アルカリ乾電池 2 本を正しい向きで入れます。
3. 蓋を矢印の方向にスライドさせて閉めます。

※電池の交換は必ず本機の電源を切ってから行ってください。

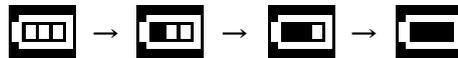
録音中、消去中などの動作中に電池を取り出すと、ファイルが再生できなくなることがあります。



お知らせ

- ・単 3 形アルカリ乾電池、または充電式ニッケル水素電池をお使いいただけます。
- ・マンガン乾電池は使用できません。
- ・本機に充電機能はありません。充電式ニッケル水素電池は市販の充電器で充電してください。
- ・乾電池を交換する際は、必ず 2 本とも新しい電池に交換してください。

電池を交換する時期



電池の残量が少なくなると、画面左上のアイコン表示でお知らせします。

表示が 1 つになりましたら、早めに新しい電池に交換してください。電池が無くなると、「電池を交換してください 電源 OFF します」の警告表示が表示されます。

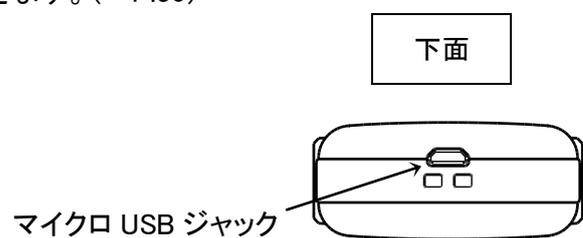
お知らせ

- ・長期間使用しない場合は、本機から電池を取り出しておいてください。
- ・電池を取り外す場合は電源を切った状態で行ってください。
- ・電池の種類・メーカーにより、実際の電池残量とアイコンの電池残量表示に差異が生じる場合があります。

◆マイクロ USB ケーブルを使用する

オプション品(別売)のマイクロ USB ケーブルおよび AC アダプタ(→P.11)を使用することで、電源を供給できます。

または、マイクロ USB ケーブルでパソコンへ接続すると、マストレージモード(内部メモリをパソコンのドライブとして認識する動作)となり、電源を供給できます。(→P.30)



注意

- ・マイクロ USB ケーブルでパソコンへ接続すると、マスストレージモード接続されますので、あらかじめご了承ください。
- ・パソコンへの接続中は、本機のボタン、スイッチは操作できません。
- ・マスストレージモードは読み取り専用となります。パソコン側からの操作で録音ファイルを消去することはできません。

こんな表示がでたら



⇒ 電池残量が少なくなっています。電池を交換するか、マイクロ USB ケーブルで電源に接続してください。



⇒ 電池残量がありません。停止ボタンを押して電源 OFF してください。その後、電池を交換する、もしくはマイクロ USB ケーブルで電源に接続してください。



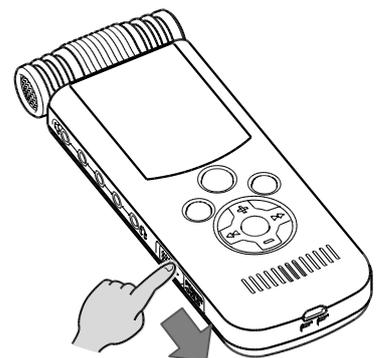
⇒ 正常に起動できませんでした。電池を取り外す、またはマイクロ USB ケーブルを取り外して電源の供給を止め、3 秒程度待つてから再度電源を供給して、電源を入れ直してください。

⑤電源を入れる／切る

電源スイッチを下側へスライドすると液晶ディスプレイが点灯し、電源が入ります。

電源が入っている状態で、電源スイッチを矢印の方向に 1 秒以上スライドさせると、液晶ディスプレイが消灯して電源が切れます。

電源 ON ⇒ 下方向へスライド
電源 OFF ⇒ 下方向へ1秒以上スライド
HOLD ⇒ 上方向へスライド(→P.26)



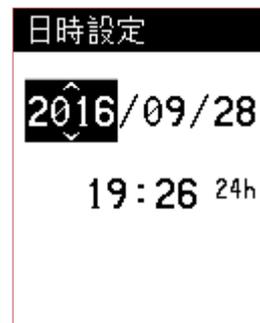
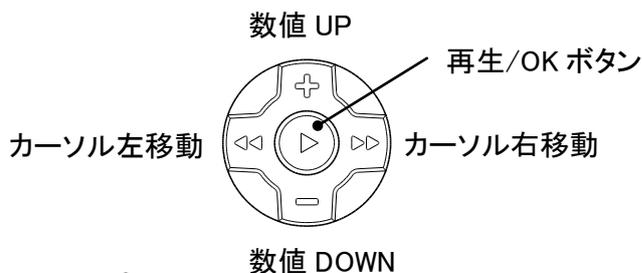
お知らせ

- ・自動電源OFF設定がONの場合、未操作およびジャック未使用でのスタンバイ状態で10分間経過すると自動的に電源が切れます。(→自動電源OFF:P.17)
※録音中/再生中/ボタン操作中/マスストレージ中は、自動電源OFF機能が無効となります。

⑥日時設定する

ご購入後初めてお使いになる時や、設定後長期間経過した場合、日時設定を行います。
本機で録音したファイルは、日時情報により管理されます。録音を開始する前に正しい日時を設定してください。設定メニューから設定することもできます。(→日時設定:P.17)

1. 十字キーの左右ボタンでカーソルを移動して、設定項目を選択(年/月/日/時/分)し、十字キーの上下ボタンで数値を設定します。
2. 再生/OK ボタンを押して決定します。



お知らせ

- ・最後に日時設定してから30日経過すると、起動時に日時設定画面が表示されます。正しい日時に設定してください。

⑦液晶ディスプレイの表示を確認する

本機を起動するとスタンバイモードになります。

この状態で、本機のイヤホンジャックにイヤホンを(1個でも)接続することにより、内蔵マイクや外部マイク、外部機器(ライン入力)からの音声入力を聞くことができます。

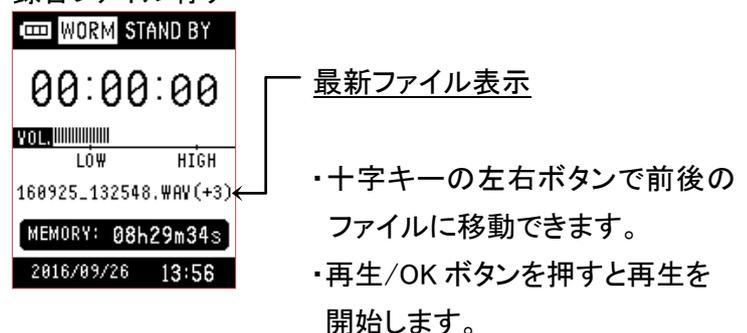


スタンバイモード

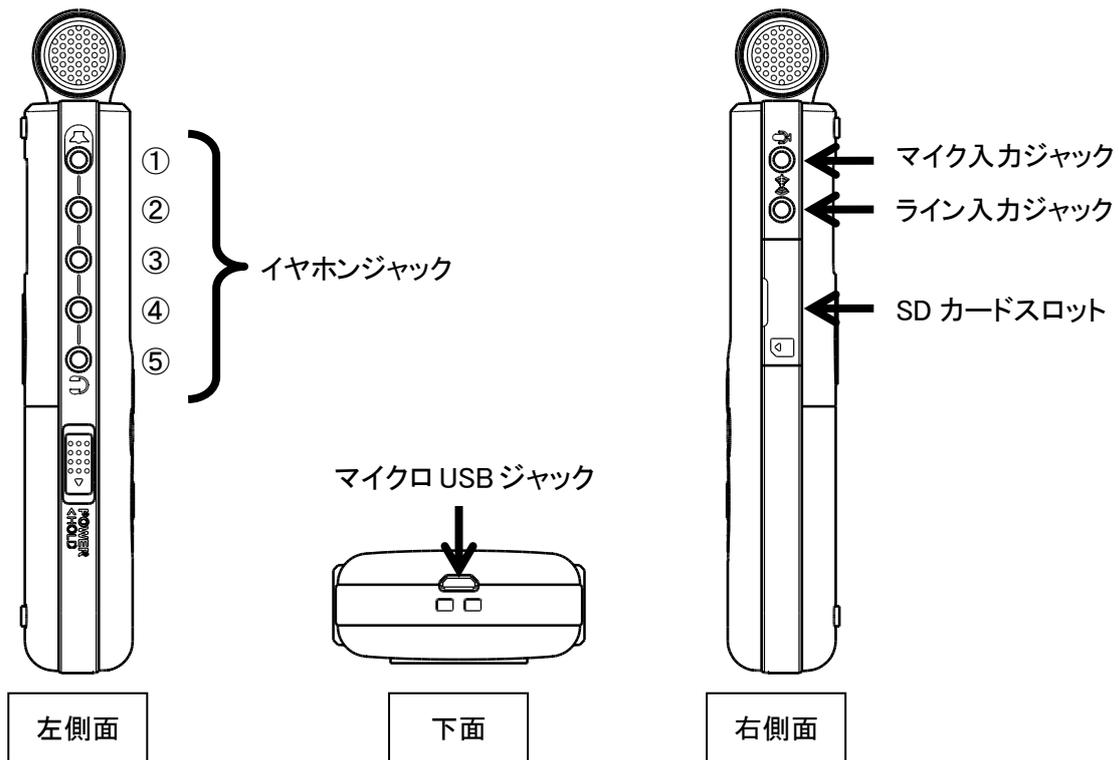
録音ファイル無し(初期)



録音ファイル有り



⑧入出力端子を確認する

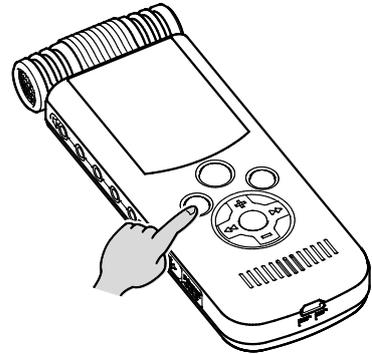


端子		機能
入力	マイク入力ジャック	外部マイクを接続することで、外部マイクからの音声を入力できます。(プラグインパワー)(→P.23)
	ライン入力ジャック	他機器の音声出力端子と接続することで、他機器からの音声を入力できます。(→P.24)
	マイクロ USB ジャック	USB 給電を行う場合は、コンセント接続した AC アダプタから給電してください。(→P.13) ※パソコンと接続することで、マストレージ接続できます。(マストレージモード中は読み取り専用です。)
出力	イヤホンジャック①~⑤	イヤホンを接続することで、スタンバイ中、録音中、再生中の音声を聞くことができます。(→P.29)
	特殊イヤホンジャック①	イヤホンジャック②~⑤とは別個に音量を調整できます。(→P.29) ※調整後、上下ボタンで音量を調整すると、他のイヤホン音量と連動して音量調整されます。
	SD カードスロット	録音データを記録するメモリカードを挿入します。(→P.12)

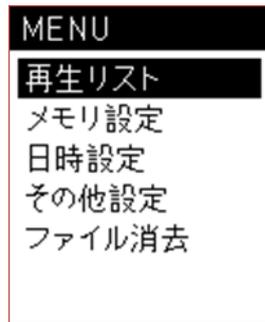
② メニューの見かた

メニューボタンから再生するファイルを選択したり、録音レベルの設定を変更したり、各種機能を設定できます。

- ①スタンバイモードの状態でもメニューボタンを押します。
- ②十字キーの上下ボタンでカーソルを移動させて設定したい項目を選択し、再生/OK ボタンで決定します。
- ③設定内容を選び、再生/OK ボタンで決定します。



メニュー画面



※メモリカード未挿入時は、「メモリ設定」は表示されません。

※WORM カード選択時は、「ファイル消去」は表示されません。

設定メニュー(一覧)

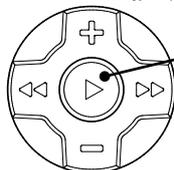
メニュー	設定内容/項目		詳細ページ
再生リスト	再生したいファイルを選択します。		P.18
メモリ設定	録音データの保存先を選択します。(メモリカード/内部メモリ) ※起動時のメモリの選択は、メモリカードが優先されます。		P.18
日時設定	日時を設定します。 ※ファイル名や録音日時情報の記録に使用しますので、正しい日時に設定してください。		P.18
その他設定	画面の明るさ	液晶ディスプレイの明るさを設定します。	P.19
	録音レベル	マイク録音の音量を設定します。	P.19
	リピート再生	設定すると選択したファイルを繰り返し再生します。(再生中のファイルのみ)	P.19
	特殊イヤホン音量	特殊イヤホンジャックに接続された機器への出力音量を設定します。	P.19/P.29
	自動電源 OFF	自動電源 OFF(10分)を設定します。	P.19/P.33
	フォーマット	メモリを初期化します。 (メモリカード/内部メモリ)	P.19/P.31
ファイル消去	消去方法を選択し、ファイルを消去します。 ・ファイル指定消去…ファイルを選択して消去 ・全ファイル消去…全ファイルを消去		P.20

※メニューボタン、停止ボタンを押すと、スタンバイモード画面に戻ります。

■再生リスト

十字キーの上下ボタンでカーソルを移動させて、再生したいファイルを選択します。
再生/OK ボタンを押すと、選択したファイルを再生します。

カーソル上移動



再生/OK ボタン

カーソル下移動

WORM 再生リスト

160926_185324.WAV
160926_152843.WAV
160926_142358.WAV
160926_134528.WAV
160926_112835.WAV
160926_102854.WAV
160926_093018.WAV
160926_080139.WAV
160925_132548.WAV

↑ 新
↓ 古

FILE TIME 01:43:52

選択中ファイルの録音時間が表示されます。

本機で録音した音声には、自動でファイル名がつきます。

例) 160925_132548.WAV

① ② 拡張子

① 録音時の「年-月-日」

② 録音時の「時-分-秒」

※ファイル名(降順)でリスト表示されます。(最大 150 個)

※3 秒未満のファイルは、表示画面と再生リストに表示されません。

マストレージモードでパソコンへ接続してご確認ください。

■メモリ設定

十字キーの上下ボタンでカーソルを移動させて、録音データの保存先を選択します。(メモ리카ード/内部メモリ)
再生/OK ボタンを押すと、選択を決定します。

※選択中の項目に「◎」が表示されます。

※初期値は「メモ리카ード」です。電源を切ると設定値は初期化されます。

メモリ設定

◎ メモ리카ード

内部メモリ

■日時設定

本機で録音したファイルは、日時情報により管理されます。
録音を開始する前に正しい日時に設定してください。

① 十字キーの左右ボタンでカーソルを移動して

設定項目(年/月/日/時/分)を選択し、十字キーの上下ボタンで数値を設定します。

② 再生/OK ボタンを押して決定します。

キャンセルする場合は、停止ボタンを押します。

日時設定

2016/09/28

09:26 24h

注意

- ・日時設定で設定した日時をもとにしてファイル名をつけます。
現実の時間と実際の録音時間が違ってしまわないように、日時設定を行って時間を調整してください。

■その他設定

十字キーの上下ボタンで項目を選択し、各設定を行います。

※WORM カードを認識している場合、フォーマットは表示されません。

その他設定

画面の明るさ

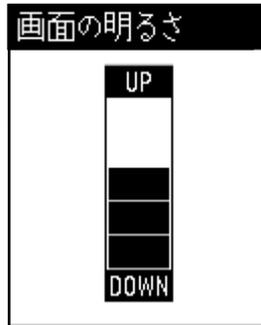
録音レベル
リピート再生
特殊イヤホン音量
自動電源OFF
フォーマット

→画面の明るさ

上下ボタンで明るさを調整し、再生/OK ボタンで決定します。
(LEVEL:0~5[6段階])

初期値:3

※前回電源 OFF 時の設定値を保持

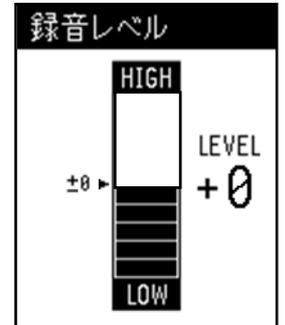


→録音レベル

上下ボタンで録音レベルを調整し、再生/OK ボタンで決定します。
(LEVEL:-5~+5[11段階])

初期値:±0

※電源 OFF で設定値は初期化

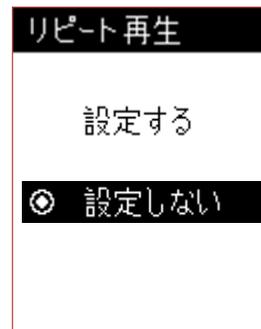


→リピート再生

上下ボタンでカーソルを移動し、再生/OK ボタンで決定します。

初期値:設定しない

※前回電源 OFF 時の設定値を保持

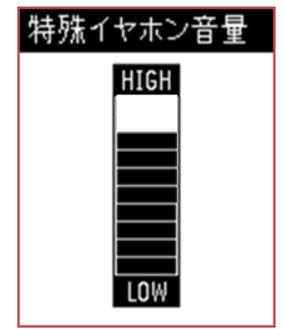


→特殊イヤホン音量

上下ボタンで特殊イヤホンジャック①の音量を調整し、再生/OK ボタンで決定します。
(LEVEL:0~10[11段階])

初期値:8

※電源 OFF で設定値は初期化

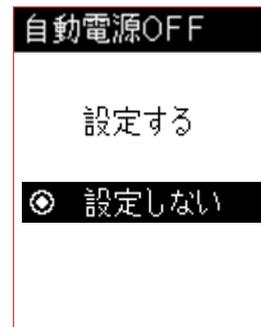


→自動電源 OFF

上下ボタンでカーソルを移動し、再生/OK ボタンで項目を選択します。

初期値:設定しない

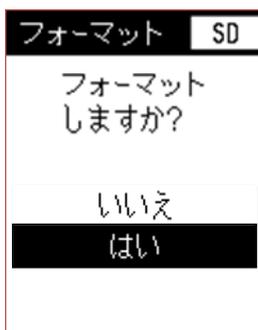
※前回電源 OFF 時の設定値を保持



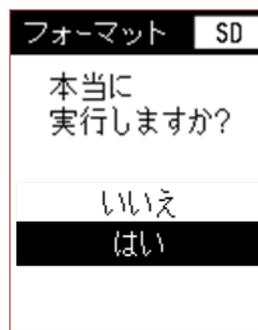
→フォーマット

上下ボタンでカーソルを移動し、実行する場合は、再生/OK ボタンで実行します。再度、念押しのメッセージが表示されますので、慎重に選択の上、実行してください。完了するとメッセージが表示され、その他設定画面に戻ります。

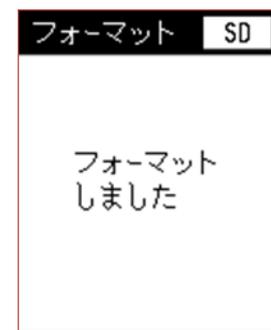
※WORM カード認識時は、表示されません。



→
「はい」を実行



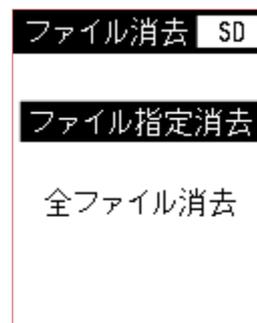
→
「はい」を実行



■ファイル消去

上下ボタンでファイルの消去方法を選択し、再生/OK ボタンを押します。
※WORM カード認識時は表示されません。

消去可能メモリ : SD カードまたは内部メモリ
消去方法 : ファイル指定消去／全ファイル消去

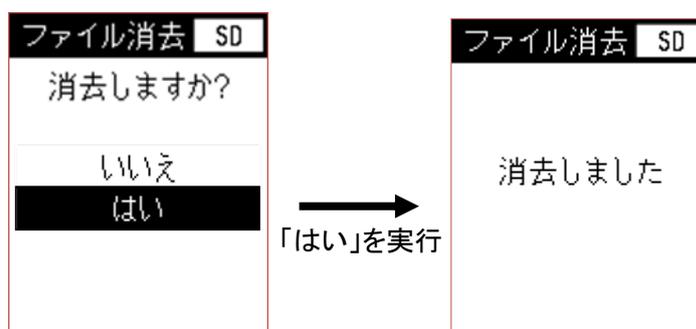


- A. ファイル指定消去 → 消去するファイルを選択して、個別に消去
- B. 全ファイル消去 → 選択中のメモリの全ファイルを消去

A. ファイル指定消去

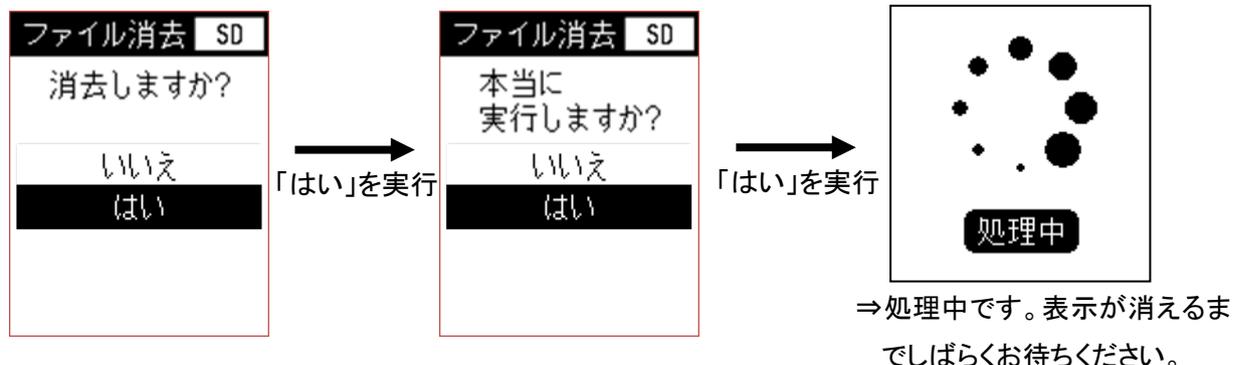
上下ボタンで消去するファイルにカーソルを移動し、右ボタンで消去するファイルを選択します。(選択中ファイル:右部✓マーク)
選択をキャンセルする場合は、再度右ボタンを押します。
再生/OK ボタンを押すと警告表示されますので、消去する場合は、「はい」を選択して、消去します。

※選択中ファイルの録音時間が下部に表示されます。



B. 全ファイル消去

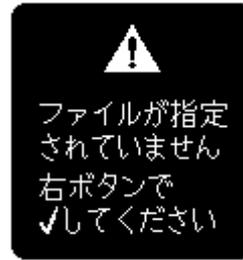
警告表示されますので、全消去する場合は「はい」を選択します。
再度、念押しのメッセージが表示されますので、慎重に選択の上、実行してください。



こんな表示がでたら



⇒ファイルの消去に失敗しました。停止ボタンを押すと非表示にできます。



⇒消去するファイルが選択されていません。消去リスト表示状態で、消去するファイルにチェックを入れて、消去を実行してください。

注意

- ・一度消去したファイルは元に戻すことはできません。消去する際は、操作する記録メディアがSDカードか内部メモリのどちらかをご確認の上、実行してください。
- ・データが破損する恐れがありますので、消去中には下記のような操作を絶対に行わないでください。
 - ①消去処理中に電源を切る。
 - ②消去処理中に本機から電池を取り外す、またはUSB接続ケーブルを抜く。
 - ③SDカードに対するファイル消去やフォーマット中にSDカードを抜き差しする。

③ 基本操作

① 録音する

内蔵マイクで録音する場合、録音したい方向にステレオマイクを向けます。正しいステレオ録音をするため、ステレオマイク側を音源に向けてください。

1. スタンバイモードから録音ボタンを押すと録音が始まります。

※録音中は録音ボタンの赤色 LED が点灯します。

※液晶ディスプレイの表示が録音モード(●REC)に変化します。

2. 録音の経過時間や、残り記録可能時間、日時情報が画面に表示されます。

※WORM カード以外のメモリを

使用する場合、「WORM カードではありません」

のメッセージが表示されますが、

録音は開始しています。

3. 停止ボタンを押して録音を停止します。

スタンバイモードに戻ります。



録音経過時間

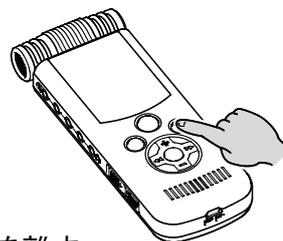
ファイル名の右に録音開始時の録音レベルが表示されます

残り記録可能時間

日時情報

上手に録音するためのコツ

- ・風を遮り、本機に風が直接当たらないようにする。
- ・口述録音の場合は、本機を口の正面からズラすか距離を離す。
- ・録音中は本機に触れない。
- ・エアコンやパソコン等の駆動音や振動を避ける。



お知らせ

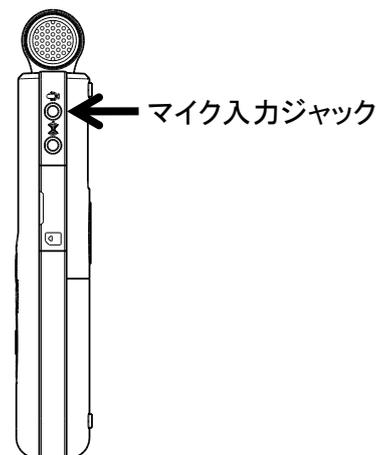
- ・録音中は、録音音量を調整できません。
事前に「設定メニュー」より設定してください。(→録音レベル／特殊イヤホン音量:P.17)
電源OFF後は、設定値は保存されません。録音前に設定してください。
- ・VOLバーの表示がHIGHを大きく超えないように調整ください。超えると音割れで記録される場合があります。
- ・録音中の一時停止はできません。
- ・最低3秒間は録音します。録音開始から3秒以内の録音停止はできません。
- ・録音可能なファイル件数はメモリ毎に最大150件です。
- ・1ファイルの最大容量は4GBです。録音は4GBで停止し、継続して録音できません。
- ・内部メモリ、メモリカードへの録音中に電池残量が無いなどで録音が異常終了した場合、再度電源を入れた時(内部メモリ、メモリカードへのアクセス時)にリカバリー処理を行います。
なお、リカバリー処理された録音ファイルにつきましては録音データの欠落が発生したり、再生できない場合があります。ご了承のほどお願いします。(→P.7)

◆外部マイクから録音する

本機のマイク入力ジャックに外部マイクを接続すると、外部マイクからの音声を録音できます。

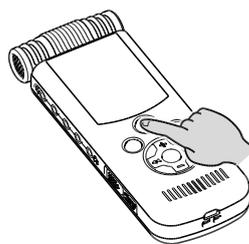
1. マイク入力ジャック端子に外部マイクを接続します。

外部マイクを認識すると、外部マイク接続表示がでます。

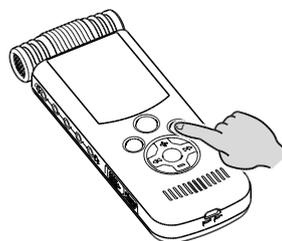


2. 音声入力が内蔵マイクから外部マイクに自動的に切り替わります。

3. 録音ボタンを押して録音をスタートします。



4. 停止ボタンを押して録音を停止します。



※録音中は、録音音量を調整できません。

録音前に録音レベルを調整してください。(→録音レベル:P.17)

注意

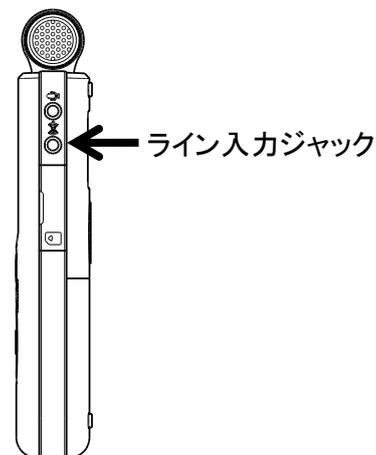
- ・外部マイクには、エレクトレットコンデンサマイク(ステレオ)をご使用ください。(→P.7)
- ・モノラルマイクを使用する際は、ステレオタイプのプラグのものをご使用ください。
- ・外部マイクを接続すると、内蔵マイクは動作しなくなります。

◆外部機器の音声を録音する

本機のライン入力ジャックに外部機器を接続すると、外部機器からの音声を録音できます。

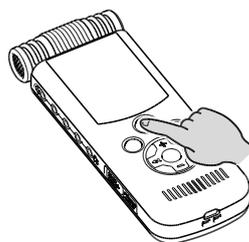
1. ライン入力ジャックに外部機器を接続します。

ライン入力を認識すると、ライン入力接続表示がでます。



2. 音声入力が内蔵マイクからライン入力に自動的に切り替わります。

3. 録音ボタンを押して録音をスタートします。



4. 停止ボタンを押して録音を停止します。



※外部機器からの音声については、録音レベルを調整できません。

外部機器の出力レベルを調整してから、録音を開始してください。

注意

- ・外部機器の音声を本機で録音する場合は、マイク入力ジャックに録音用のケーブルを接続しないでください。
- ・外部機器を接続すると、内蔵マイクは動作しなくなります。
- ・外部機器と外部マイクを同時に接続した場合、外部機器が優先されます。外部マイク使用時には外部機器を外してください。

こんな表示がでたら



⇒録音開始時に挿入されているメモリカードがWORMカード以外の場合に表示されます。



⇒メモリカードがLOCKされています。メモリカードを取り外して、LOCKを解除してください。



⇒録音に失敗しました。停止ボタンを押すと非表示になります。録音し直してください。



⇒メモリ容量が不足しています。メモリ残量を超えました。ファイル消去、フォーマット、別メモリに交換などご対応ください。



⇒録音中にSDカードが抜かれました。録音結果を保存できません。



⇒メモリ容量が不足しています。録音を開始できません。ファイル消去、フォーマット、別メモリに交換などご対応ください。



⇒録音可能なファイル件数は最大150件です。別メモリに交換、不要なファイルの消去、または必要なファイルを退避させた後に消去やフォーマットなどご対応ください。



⇒録音中に、記録可能な時間が1分以下になった場合に表示されます。別メモリに交換などご対応ください。

◆録音中の音声を聞く

録音中に本機のイヤホンジャックにイヤホンを(1個でも)接続することにより、内蔵マイクや外部マイク、外部機器からの音声入力を聞くことができます。

イヤホン出力(特殊/通常 連動)の大きさを、十字キーの上下ボタンで調整できます。

※録音中は録音音量を調整できません。

注意

- ・録音中に音量を変えても録音レベルは変化しません。
- ・イヤホン使用時は、音量にご注意ください。
- ・ハウリングを起こす恐れがありますので、録音中はイヤホンをマイクに近づけないでください。

◆HOLD 機能(誤操作防止)を使う

電源スイッチを上へスライドすると HOLD 状態にできます。

HOLD オンにすると、本機のボタン操作を受け付けなくなるため、録音(あるいは再生)の中断などの誤操作を防止できます。

HOLD 状態を解除する場合は、電源スイッチを中心へスライドしてください。

注意

- ・HOLD 解除の際、下方向へ 1 秒以上スライドして電源 OFF とならないようご注意ください。

こんな表示がでたら



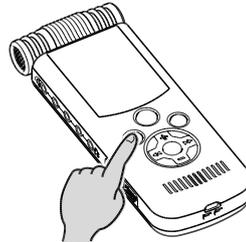
⇒HOLD 状態にした時、または HOLD 状態でボタンを押した時に表示されます。
電源スイッチを下へスライドさせて HOLD を解除してください。

②再生する

本機で録音した音声ファイルを再生することができます。

本機に接続したイヤホン、または内蔵スピーカーに音声を出力します。

1. スタンバイモードで左右ボタンを押すと、再生するファイルを選択できます。またはメニューボタンを押して、再生リストを開きます。



2. 再生リストから選択する場合は、十字キーの上下ボタンでカーソルを移動し、再生したいファイルを選択します。



3. 再生/OK ボタンを押して、再生を開始します。



4. 上下ボタンで出力音量を調節します。

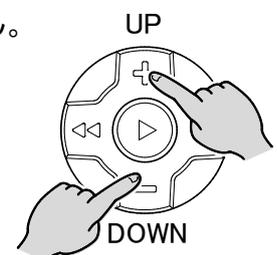
音量は11段階で変化します。ただし、調整時に音量レベル表示はありません。

設定値:0~10(初期設定値:10)

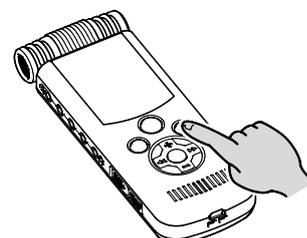
※スタンバイモード、再生モード、録音モード時に音量を調整できます。

※1端子のみ(特殊イヤホンジャック①)個別で音量を調整する

方法は「③イヤホンについて」を参照してください。(→P.29)



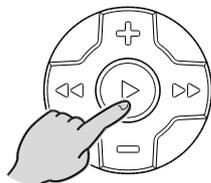
5. 停止ボタンを押して、再生を停止します。再生を終了すると、スタンバイモードに戻ります。



◆一時停止をする

再生中に再生/OK ボタンを押すと、一時停止できます。

※アイコンが **▶PLAY** から **||PLAY** へ変化します。



◆巻戻し／早送りをする

・ファイル再生中: 十字キーの左右ボタンで、巻戻し／早送りできます。

短押し: 巻戻し(3 秒)／早送り(5 秒)

長押し: 早送り／巻戻しの連続動作(ボタンから手を放すと、その位置から再生します。)



← シークバー位置が
変化します

こんな表示がでたら



⇒再生が失敗した場合に表示されます。停止ボタンを押して、再度再生をしてください。



⇒ファイルの読み込みに失敗した場合に表示されます。はじめから再生をやり直してください。



⇒ファイルのリカバリーを行った場合に表示されます。はじめから再生して確認してください。

③イヤホンについて

本機のイヤホンジャック①～⑤に、ステレオミニ端子(3.5mm 径)のイヤホンまたはヘッドホンを接続することで、スタンバイ中、録音中、再生中の音声を聞くことができます。

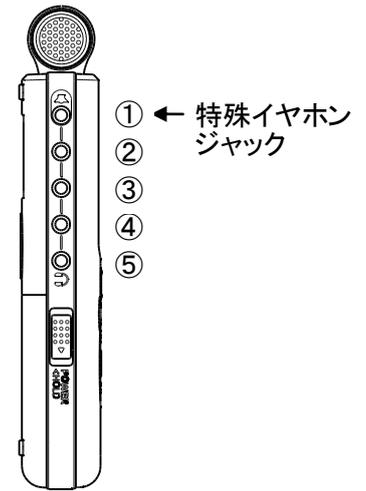
5つのイヤホンジャックがあり、それぞれの端子にイヤホンを接続すれば、最大5人まで同時に聞くことが可能です。

特殊イヤホンジャック①は、他の4つの端子②～⑤とは別個に音量を調整することができます。(→特殊イヤホン音量:P.17)

例えば、外部機器(スピーカーやレコーダー)へ音声を出力する際に便利です。他のイヤホン音量を調整後、特殊イヤホン音量をメニューから調整してください。

なお、調整後に上下ボタンで音量を調整すると、他のイヤホン音量と連動して音量調整されます。

※1つでもイヤホンを接続している場合、内蔵スピーカーから音は出力されません。



注意

- ・耳への刺激を避けるため、音量の設定を確認してからイヤホンをご利用ください。
- ・イヤホンで聞く場合は、音量をあまり上げないでください。聴覚障害、聴力低下を引き起こす恐れがあります。
- ・3極イヤホン以外を使用しないでください。正常に音声が再生されない場合があります。
- ・本機は、本機以外で作成された音声ファイルを再生できません。また、本機で作成された音声ファイルをパソコン等で編集した場合でも再生できなくなる可能性があります。

④ 応用操作

① パソコンを活用する

本機をパソコンと接続することによって、次のことができます。

・Windows Media Player または iTunes を使用し、本機で録音した音声をパソコンに転送して、パソコンでファイルを再生できます。また、パソコンで録音ファイルを管理できます。

※内部メモリからは、パソコンへ録音ファイルを転送できますが、SD カード、WORM カードからは転送できません。

パソコンの動作環境

Windows ⇒ Windows Media Player

OS: Microsoft Windows 7/8/8.1/10

Mac ⇒ iTunes

OS: OSX/macOS

※ご使用のアプリによっては再生できない場合がありますので、予めご了承ください。

パソコンへの接続方法

1. パソコンを起動します。
2. マイクロ USB ケーブルをパソコンの USB ポートに接続します。
3. 本機が電源 OFF 状態時にマイクロ USB ケーブルを接続し、本機の電源を入れます。



USB 接続中は、本機のディスプレイに右記マーク[マストレージ中]が表示されます。



お知らせ

- ・マストレージモード中は、本機のボタン操作、スイッチ操作はできません。また、自動電源OFF設定をONにした場合でも自動電源OFFは機能しません。
- ・録音中/再生中/ファイル消去中/フォーマット中にUSB接続した場合は、各動作が終了してからマストレージモードへ移行します。
- ・マストレージモードは読み取り専用となります。パソコン側からの操作で録音ファイルを消去することはできません。また、パソコン側から本機の内部メモリへファイルコピーは出来ません。

注意

- ・ノイズにより周辺電子機器に影響を及ぼす可能性があります。パソコンに接続する場合は、外部マイクやイヤホンを外してください。
- ・パソコンと接続した場合、マイクロ USB ケーブルから電源供給されます。
- ・パソコンの USB ポートの取り扱いについては、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- ・マイクロ USB ケーブルは必ずパソコン本体の USB ポートに接続してください。
- ・USB コネクタが正しく接続されていない場合は正常に動作しません。奥まで確実に差し込んでください。
- ・USB ハブを経由して本機を接続すると、動作が不安定になる場合があります。このような場合、USB ハブを使用しないでください。

②フォーマットする

内部メモリ、または SD カード内を初期化して全ファイルを消去します。

※WORM カードのフォーマットはできません。

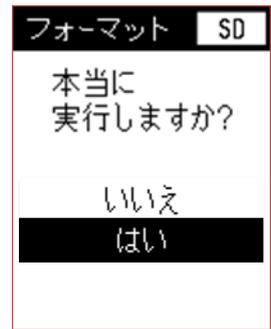
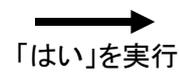
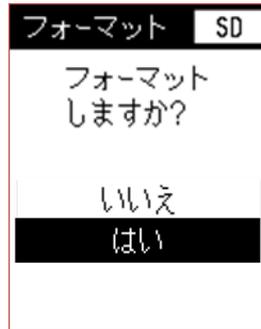
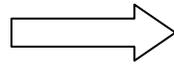
フォーマットの方法についての詳細は、「②メニューの見かた」を参照ください。

(→フォーマット:P.17)

注意

- ・操作する記録メディアがメモリカード (SD カード)、または内部メモリのどちらなのか間違えないように必ずフォーマットを実行する前にご確認ください。フォーマット画面で上部に表示されるメモリがフォーマットの対象となります。
- ・処理中に下記の操作を絶対に行わないでください。データが破損する恐れがあります。また、処理中に電源が切れることの無いよう電池残量に気を付けてください。
 - ①処理中に電源を切る。
 - ②処理中に電池を取り出す、または AC アダプタからの電源供給中にケーブルを抜く。
 - ③対象の記録メディアがメモリカードの場合、処理中に SD カードを取り外す。
- ・本機での SD カードの初期化はクイックフォーマットとなります。SD カード内データは初期化してもファイル管理情報が更新されるだけで完全に消去されません。譲渡や廃棄時にはカードの取り扱いにご注意ください。廃棄の際には、SD カードを破壊するなどの対処をおすすめします。

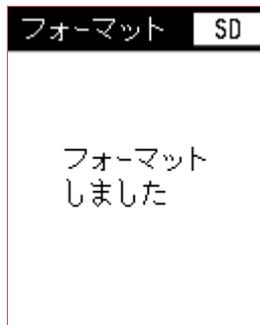
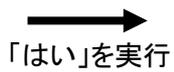
こんな表示がでたら



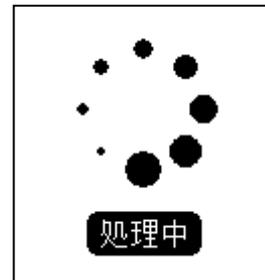
⇒メモリが使用できません(未フォーマット)。フォーマットの可否画面に切り替わります。

⇒上下ボタンでカーソルを移動し、決定します。

⇒もう一度確認の表示がでるので、フォーマットを実行する場合は、「はい」を選択します。



⇒フォーマットが完了しました。



⇒現在処理中です。表示が消えるまでしばらくお待ちください。

③電源を自動的に切る

自動電源 OFF 設定することで、電源の切り忘れを防止できます。

未操作およびジャック未使用でのスタンバイ状態のまま 10 分以上経過すると、自動で電源を OFF します。

設定方法については、「②メニューの見かた」を参照ください。(→自動電源 OFF:P.17)

注意

- ・設定してからいずれかのボタンを押すと、経過時間はリセットされ再度カウントを開始します。
- ・録音中/再生中/ボタン操作中/マストレージモード中は、自動電源 OFF 機能が有効でも、電源 OFF されませんので、ご注意ください。

⑤ こんな表示が出たら

警告表示についての詳細や解決方法は、本取説内の関連ページに詳しく記載しています。
 下記に記載ページをまとめておりますので、詳細は各ページからご確認ください。

表示	ページ
電池残量が少なくなりました	P.14
電池を交換してください 電源 OFF します	
システムエラー	
消去に失敗しました	P.21
ファイルが指定されていません 右ボタンで✓してください	
外部マイクに接続されました	P.23
ライン入力に接続されました	P.24
WORM カードではありません	P.25
メモ리카ードが LOCK されています	
録音に失敗しました	
容量を超えました 録音を停止します	
メモ리카ードが抜かれました 録音は保存されません	
メモリ残量が無くなりました 録音できません	
保存ファイル数が制限を超えました 録音できません	
メモリ残量が少なくなりました	P.26
HOLD されています 操作できません	P.28
再生に失敗しました	
読み込みに失敗しました	
エラーファイルをリカバリーしました	P.30
マスのストレージ中 	
フォーマットしてください	P.32

⑥ 故障かな? と思ったら

◆現象と確認

以下のことをお確かめのうえ、異常があるときは、巻末に記載の弊社開発営業部までご相談ください。

現象	この点を確認してください	ページ
ディスプレイに何も表示されない、電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> 電池が切れていませんか。電池を交換してください。またはマイクロ USB ケーブルを使用して電源を供給してください。 電池の+と-の向きが正しいか確認してください。 電源が入っていますか。電源を ON にしてください。 	<p>P.13</p> <p>P.13</p> <p>P.14</p>
操作ボタンを押しても動作しない	<ul style="list-style-type: none"> 電池を一旦外し、再び入れ直してから電源スイッチを入れてください。または、マイクロ USB ケーブルを一旦抜き、再び接続してから電源スイッチを入れてください。 HOLD が ON になっていませんか。HOLD を解除してください。 	<p>P.13</p> <p>P.26</p>
録音できない	<ul style="list-style-type: none"> メモリ残量はありますか。必要のないファイルを消去してください。 SD カードを挿入していますか。 SD カードが壊れていませんか。 SD カードの空き容量がありますか。 ファイル件数が最大の 150 件になっていませんか。 SD カードが書き込み禁止 LOCK されていませんか。 	<p>P.20</p> <p>P.12</p> <p>P.15/P.22</p> <p>P.22/P.25</p> <p>P.12</p>
内蔵マイクから録音できない	<ul style="list-style-type: none"> 外部マイクを接続していませんか。外部マイクを接続すると内蔵マイクは動作しません。 外部機器を接続していませんか。外部機器を接続すると、内蔵マイクは動作しません。 マイク入力ジャックやライン入力ジャックに接続していると内蔵マイクは使えません。外してください。 	<p>P.16/P.23</p> <p>P.23</p> <p>P.23/P.24</p>
外部マイクから録音できない	<ul style="list-style-type: none"> ライン入力ジャックに接続していませんか。マイク入力ジャックに接続してください。 外部マイクはエレクトレットコンデンサマイク(ステレオ)をご使用ください。 	<p>P.23</p>
再生音が聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> 再生音量が小さくなっていませんか。再生中に上下ボタンで音量を設定してください。 内蔵スピーカーでは、音声が小さかったり、聞きづらいことがあります。その場合は、イヤホンジャックへイヤホンを接続して使用してください。 録音されている音量が小さくなっていませんか。設定メニューから録音レベルを調整してください。 特殊イヤホンジャック①の音量はイヤホンジャック②～⑤とは別個に調整可能です。特殊イヤホン音量を調整してください。 イヤホンジャックにイヤホンを接続していませんか。内蔵スピーカーから出力する場合、イヤホンを取り外してください。 3 極イヤホン以外を使用していませんか。 一時停止 PLAY になっていませんか、一時停止になっていれば、再生/OK ボタンをおして PLAY にしてください。 	<p>P.27</p> <p>P.29</p> <p>P.17</p> <p>P.29</p> <p>P.29</p> <p>P.29</p> <p>P.28</p>

現象	この点を確認してください	ページ
録音レベルが小さい	<ul style="list-style-type: none"> 録音レベルが小さくなっていませんか。その他設定の録音レベルから調整してください。 ライン入力端子より他機器から録音した場合、他機器の出力レベルが小さくなっていませんか。出力レベルを調整してください。 	P.17 P.24
再生音が歪む (バリバリした音になっている)	<ul style="list-style-type: none"> 録音レベルを調整してもう一度録音してください。 入力の音が大きすぎるかもしれません。マイクの場合、もう少し離して録音するか VOL.表示が HIGH を超えないように録音レベルを調整して録音してください。 <ul style="list-style-type: none"> 録音レベルの設定は、電源を OFF すると初期化されますので、電源を入れるたびに調整してください。 ライン入力をご利用の場合、接続機器側の出力音量を下げ、VOL.表示が HIGH を超えないようにしてください。 	P.17 P.17
再生時に雑音がする	<ul style="list-style-type: none"> 録音中や再生中に本機を、蛍光灯や携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。それらから本機を離して録音してください。 録音時に本機に手などがあたったり、衣服とこすれたりすると雑音が入ることがあります。録音終了まで、なるべく本機に触れないようにしてください。 	P.6 P.6
電源が自動的に切れる	<ul style="list-style-type: none"> 自動電源 OFF の設定が「設定する」になっていませんか。「設定する」を選択していると、10 分間操作が無い場合、自動的に電源を OFF します。 	P.17
電池の持続時間が短い	<ul style="list-style-type: none"> 長い間使用しない場合は、電源を切るか、電池を外しておくことをおすすめします。 マンガン電池を使用していませんか。マンガン電池は使用できません。 	P.13 P.13
イヤホンをつないでも、内蔵スピーカーから音が出る	<ul style="list-style-type: none"> イヤホンジャックにイヤホンを差し込む際、最後まで差し込まないと内蔵スピーカーからも音が聞こえてしまうことがあります。一度イヤホンを抜いて、最後までしっかり差し込んでください。 	P.29
ファイルが消去できない	<ul style="list-style-type: none"> SD カードが LOCK されていませんか。SD カードの LOCK を確認してください。 マスタストレージモードでは録音ファイルを消去できません。必ずメニューより操作してください。 	P.12 P.30
充電ができない	<ul style="list-style-type: none"> 本機は充電機能を備えていません。充電式電池は使用できません。 	P.13
パソコン側から本機を認識できない	<ul style="list-style-type: none"> パソコンから本機を取り外し、再度接続してください。 USB ハブや USB 延長ケーブルをお使いの場合、本機を直接接続してください。 お使いのパソコンの USB ポートによっては認識できないことがあります。別の USB ポートに接続してください。 	P.30 P.31 P.30/P.31

長期間のご使用について

- 本製品の保証期間を超えて長期間お使いになられるとき、部品の寿命によって、性能、品質が劣化する場合があります。有償にて部品交換を致します。お買い上げの販売店か、最寄りの弊社支店・営業所までご相談ください。

⑦ 仕様

項目	内容
内部メモリ	4GB
外部メモリ	WORM カード、または SD/SDHC カード(32GB まで)
録音形式	リニア PCM(Pulse Code Modulation)形式 44.1kHz / 16bit(WAV)
録音時間 *1	内部メモリ:5 時間 50 分 WORM カード:1 時間 30 分 SD カード(SDHC 8GB):12 時間
最大ファイル件数	150 件
録音レベル調整	内蔵マイク/外部マイクに適用(ライン入力の場合:0dB 固定) 初期設定値:0 ※設定メニューから調整=11 段階(LEVEL:-5~+5)、0dB~47.5dB ※録音操作中は調整不可
再生音量調整	上下ボタンで調整 設定値:0~10(初期設定値:10)、-63.5dB~0 dB
特殊音量調整	イヤホン出力 5 系統の内、1 系統のみ適用(特殊イヤホンジャック①) ※設定メニューから調整 設定値:0~10(初期設定値:8) ※調整範囲:-48dB~+12dB
内蔵マイク	周波数特性:50~16000Hz、感度-40dB±3dB
スピーカー	Φ15mm 丸型ダイナミックスピーカー x 1(モノラル) 定格電力 0.5W
外部マイク入力	Φ3.5mm ジャック x 1(ステレオ) ※プラグインパワー方式エレクトレットコンデンサマイク対応
外部ライン入力	Φ3.5mm ジャック x 1(ステレオ) 20~20000Hz
イヤホン出力	Φ3.5mm ジャック x 5(ステレオ) 50~20000Hz ※1ジャックのみ他4ジャックとは別個に再生音量調整可能
スピーカー実用最大出力	200mW
表示部	モノクロ液晶(2.0" 128x160 画素)
USB コネクタ	マイクロ USB⇒パソコン接続/AC アダプタによる電源供給(充電機能無し)
電源	電池:単3形アルカリ乾電池 2 本 または ニッケル水素充電電池 2 本 USB ケーブル供給(DC5V)
定格消費電力	1.6W 以下
定格消費電流	0.32A 以下
対応 OS	Windows 7/8/8.1/10、OSX macOS
外形寸法	146 × 54 × 24.4 mm(突起部含まず)
質量	125g(電池含まず)
本体色	黒
同梱品	単 3 形アルカリ乾電池 2 本、クイックスタートガイド(保証書付)
動作温度	0°C~40°C
コントラスト調整	出荷時調整固定
バックライト調整	明るさのみ調整可能
フォーマット	SD カード/内部メモリ 可能 ※WORM カードのフォーマットはできません。

*1 最大連続録音時間[SD カード(SDHC8GB)の場合]

:12 時間(連続録音時間:約 6 時間 40 分、但し電源の制約なしの場合)

オプション品(別売)

マイクロ USB ケーブル	マイクロ USB (USB2.0 準拠)
AC アダプタ	DC5V の AC アダプタ (AC100-240V 50/60Hz)

注意

- ・録音時間の値はあくまで目安ですので、ご注意ください。
- ・録音を小刻みに繰り返した場合、録音可能時間が目安よりも短くなる場合があります。
- ・ご使用の SD カードによっては、空き容量に差が出ることもあるため、録音可能時間に差が生じる可能性があります。

◆電池持続時間のめやす

- ・アルカリ乾電池 (FUJITSU: LR(2S)FU-A-FI)

録音時: 約 5 時間

イヤホン 1 系統再生時: 約 4 時間 30 分

スピーカー再生時: 約 3 時間

- ・ニッケル水素充電電池 (パナソニック: エネループ BK-3MCC)

録音時: 約 7 時間 30 分

イヤホン 1 系統再生時: 約 7 時間 30 分

スピーカー再生時: 約 7 時間

注意

- ・上記の値はあくまで目安ですので、ご注意ください。
- ・電池持続時間は、使用電池、使用条件などにより差が生じる可能性があります。

索引

い

一時停止	28
イヤホンジャック	29
イヤホンについて	29

え

液晶ディスプレイ	15
----------------	----

か

書き込み禁止 LOCK スイッチ	12
画面の明るさ	19

さ

再生モード	27
再生リスト	18
三脚穴	11

し

自動電源 OFF	19, 33
出力音量	27
仕様	37

て

電源スイッチ	14
電池持続時間	38

と

特殊イヤホン	19, 29
--------------	--------

な

内蔵マイク	22
-------------	----

に

日時設定	15, 18
入出力端子	16

は

早送り	28
-----------	----

ふ

ファイル消去	20
フォーマット	19, 31

ほ

HOLD 機能	26
---------------	----

ま

マイク入力	16, 23
マイクロ USB ケーブル	13
巻戻し	28
マストレージ	30

め

メニュー	17
メモリカード	12
メモリ設定	18

ら

ライン入力	16, 24
-------------	--------

り

リカバリー処理	22
リピート再生	19

ろ

録音レベル	19
-------------	----

■商標・ライセンスについて

ELMOは株式会社 エルモ社の登録商標です。
SD、SDHC、SDXC、 ロゴは SD-3C,LLC 商標です。
Microsoft と Windows は、Microsoft Corporation の登録商標です。
OS X は、Apple Inc の商標です。
エネループはパナソニックグループの登録商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

ご注意

・補修用性能部品について

弊社では本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後 5 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

・この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従い、正しい取り扱いをしてください。

株式会社 エルモ社

〒467-8567

名古屋市瑞穂区明前町 6 番 14 号

Web: <http://www.elmo.co.jp>

製品に関するお問い合わせ
開発営業部

TEL: 052-821-3141

FAX: 052-824-4400

E-mail: online-info@elmo.co.jp

6X1VRPA02 R0-Xxx